

2024年度 一般社団法人日本臨床化学会 第1回理事会 WEB 開催議事録

日時：2024年6月20日（木）13:00～14:15

議長：三井田孝（理事長）

出席者：三井田孝（理事長）

石井直仁、大川龍之介、菅野光俊、山田俊幸、吉田 博（以上 常務理事）

川崎健治、惠 淑萍、河野麻理、小谷和彦、酒瀬川信一、坂本秀生、城野博史、中川沙織、

濱田悦子、堀田多恵子、山口哲史、山下計太（以上 理事）

前川真人、三浦雅一（以上 監事）

欠席者：仁井見英樹、橋口照人（理事）

理事出席者数 18名（理事数 20名）、全出席者数 20名

議 題

1. 開会の辞（三井田 理事長）

- ・ 理事総数 20 名中 18 名の出席があり理事会は成立した。
- ・ 本会名誉会員である戸谷 誠之先生、垂井 清一郎先生、南原 利夫先生への黙祷を行ったあと会議を開催した。

2. 議事録確認者の指名（三井田 理事長）

- ・ 小谷理事、山口理事が指名された。

3. 報告事項

1) 庶務報告（吉田 庶務担当理事）

①学会会員現状報告

2024年6月10日時点で、正会員 1,504名、正会員（30歳未満）128名、評議員 162名となっており、順調に推移している。

②事業報告・事業計画

2023年10月に開催した理事会以降、評議員会のほか各種委員会などを開催し、学会誌は順調に発行している。本理事会以降も会議、学会誌発行など予定している。

2) 2023年度に関する利益相反調査報告（酒瀬川 法務担当理事）

- ・ 2023年度に関する利益相反調査報告がなされた。
- ・ 対象者は226名で未回答者が2名であった。
- ・ 今年度は質問の方法を昨年度と変えてみたものの、意図が伝わっていない回答も見受けられたため、来年度も質問の仕方に模索が必要と考えている。

3) 2024年度学会賞関連報告（惠 学術担当理事）

- ・ 2024年度の学会賞ならびにYIAの受賞者が決定した旨報告がなされた。
- ・ 学会賞は、学術賞1名、奨励賞2名、技術賞1社、論文賞1名、YIAは各支部より1名の選出があり9名選出された。Student Awardについては、年次学術集会の一般演題登録時に募集をかけ、抄録による審査で10名の候補者が選出された。年次学術集会当日、学生シンポジウムでの発表時に審査をし、5～6名の受賞者を決定する予定。

<学会賞>

学術賞：中出 祐介氏（金沢大学附属病院）

奨励賞：黒崎 祥史氏（北里大学）、櫻井 知子氏（北海道大学大学院保健科学院）

技術賞：積水メディカル株式会社

論文賞：徳丸 光彬氏（浜松医科大学）

<Young Investigator Award (YIA)>

北海道支部：田中真輝人氏（札幌医科大学附属病院）

東北支部：佐藤 美空氏（東北医科薬科大学病院）

関東支部：山崎あずさ氏（東京医科歯科大学病院）

甲信越支部：鈴木 晴媛氏（信州大学医学部附属病院）

東海・北陸支部：石原 裕也氏（藤田医科大学）

近畿支部：川上 莉歩氏（大阪大学大学院医学系研究科）
中国支部：國宗 勇希氏（山口大学医学部附属病院）
四国支部：松本 雄貴氏（愛媛大学医学部附属病院）
九州支部：古澤 恭平氏（久留米大学病院）

<Student Award2024 候補者>

赤羽 匠吾氏（信州大学大学院医学系研究科）
江口 美祈氏（北海道大学大学院 保健科学院）
大村 莉子氏（埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科）
佐藤 直和氏（北里大学大学院 医療系研究科）
高橋 佳佑氏（群馬パース大学大学院保健科学研究科）
早田 光里氏（藤田医科大学大学院医療科学研究科）
古高 裕導氏（北海道医療大学大学院医療技術科学研究科）
南 雄介氏（北海道大学大学院保健科学院）
八木 文佳氏（東北大学大学院薬学研究科）
李 泳翰氏（北海道大学大学院保健科学研究所）

4) 認定関連報告（濱田 教育担当理事）

①2024 年度認定臨床化学者申請状況報告

- ・ 新規申請者：14 名、更新申請者：12 名

②2024 年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度報告

- ・ 受験期日は、2024 年 12 月 22 日（日）を予定している。
- ・ 登録更新申請書受付期間などは現在検討中。確定後、ホームページ等で通知する。
- ・ 指定講習会は昨年同様オンデマンド開催とする。
- ・ 更新セミナーは第 64 回年次学術集会のセッションから選出し、年会時に受講していただく予定。

5) シニア向けアンケート結果報告（大川 あり方検討委員会委員長）

- ・ 本会のあり方を検討するヒントを得るためにアンケートを実施した。
- ・ 調査対象は、①65 歳以上（回答：25 名/181 名中）、②60-65 歳（回答：24 名/181 名中）、回答率は約 15%であった。
- ・ 回答としては「若手研究者に継承していきたい」など有益なものが多くあった。
- ・ あり方検討委員会でも報告し、後日整理して理事会に報告する。

6) 第 64 回年次学術集会準備状況報告（山田 第 64 回年次学術集会長）

- ・ 第 64 回年次学術集会準備状況に沿って報告がなされた。

会 期：2024 年 8 月 30 日（金）～9 月 1 日（日）

会 場：ライトキューブ宇都宮（JR 宇都宮駅直結）

集会長：山田俊幸（自治医科大学臨床検査医学）、副集会長：小谷和彦（同地域医療学）

テーマ：これからも面白い臨床化学

7) その他

①選挙に関する進捗状況報告（菅野 選挙管理委員会委員長）

- ・ 定員に満たなかったため、立候補締め切り日を 1 回延長し、現在は締め切っている。
- ・ 最終的な立候補の結果は、以下の通り。

理事選挙：医師 3 名、教育・研究職 3 名、医療職 2 名、産業系 2 名

監事選挙：1 名

【今後のスケジュール】

6 月 26 日 投票に関するご案内を配信

7 月 3 日 投票開始

②日本薬系学会連合について（城野 理事）

- ・ 日本臨床化学会は、創立メンバーとなっている。設立後、現在まで 2 回会議があり、出席

している。

- ・ 今後も情報を収集し、発信していく予定。

③厚労省事業（体外診断用医薬品の臨床性能試験の実施基準策定）について（三井田 理事長）

- ・ 学会宛に大阪大学薬学研究科の近藤昌夫先生から協力の依頼があり、3名の先生（吉田博先生、川崎健治先生、佐藤正一先生）に研究協力者への就任を依頼し承諾を得た。
- ・ 追加で研究協力者を依頼する可能性もあるので、その際にご協力願いたい。

④第71回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム（吉田 理事）

- ・ 共催シンポジウムテーマとシンポジストについて報告があり、承認された。
- ・ Lp(a)とHDL機能の新展開をテーマに開催予定。

⑤APFCB Council meeting at ICC Sydney, Australia（三井田 理事長）

- ・ オーストラリアで開催する会議に大川理事にご出席を依頼した。

4. 協議事項

1) 会計関連

①2023年度決算案（大川 会計担当理事）

決算案などについて説明がなされ、理事会にて承認された。

- ・ 2023年度の収入合計（会費・事業・雑収入）は88,256,557円、支出合計（事業・管理費等）は23,758,673円となり、64,497,884円の黒字決算となった。
- ・ 2023年度決算では須藤佳代子先生の遺贈により約6,100万円を寄付として計上した。また、寄附以外にも不動産の家賃収入、約100万円も収入として計上した。
- ・ 昨年度に引き続き会員増加により会費収入も増えてきている。
- ・ 支出の科目にある「若手育成基金関連費」は、2023年度は遺贈に関する手続きの費用として算出しているため、「遺贈関連経費」に変更する。

②監査報告（前川 監事・三浦 監事）

- ・ 監査報告書、監事2名それぞれで確認し、適切に使用されていると確認したとの報告がなされた。

③2025年度予算案（大川 会計担当理事）

- ・ 2025年度予算案について説明がなされ、理事会にて承認された。
- ・ 収入の部：企業会員会費は、加盟企業減に伴い予算を11万円減額した。
- ・ 予算の部：IFCC、APFCB分担費は、レート変動の関係もあり高めに見積もりをした。
- ・ 須藤加代子基金関連費用は、若手育成に使用する資金として200万円を予算として計上した。

2) 評議員推薦（三井田 理事長）

- ・ 令和6年度に支部長にご就任いただいた方のうち、評議員でない方3名を代表理事推薦にて、評議員候補として提案があり、理事会にて承認された。

九州支部支部長 梅北 邦彦（宮崎大学医学部附属病院）

東海・北陸支部支部長 大倉 宏之（岐阜大学大学院医学系研究科）

中国支部支部長 矢野 彰三（島根大学医学部）

3) 須藤加代子基金について（三井田 理事長）

- ・ 須藤加代子先生からの遺贈金について須藤加代子基金を設置し、同時に基金を管理・運営する委員会として「須藤加代子基金委員会」も設置したいという提案があり、承認された。
- ・ 委員会委員は、理事長、常務理事、監事およびあり方検討委員会委員長に依頼する。
- ・ 遺贈金の使途として、若手育成のための費用として年間200万円を予算計上する旨提案があり、承認された。

4) 須藤先生名誉会員推挙について（三井田 理事長）

- ・ 須藤先生は有功会員となっていたが、今回の遺贈をうけ、特別名誉会員に推挙したらどうかという提案があり、理事会で承認された。次回社員総会での審議事項とする。

5) 旅費・謝礼内規について (菅野 会計担当理事)

旅費に関する内規について、明文化した書類がなかったため、すでに作成していた謝礼の内規も併せて新たに作成した内規案について提案があり、理事会にて承認された。

6) プロジェクト報告内規について (山田 学術連絡委員会委員長)

- ・ プロジェクトに関する内規について下記の修正案が提示され、理事会で承認となった (別添資料)。
- ・ プロジェクトの研究期間を試料の測定とデータ解析に費やす期間 (2年間) とし、論文投稿から受理までの期間を含めない。
- ・ 他競争的研究資金でも2年程度の研究期間 (論文受理を除く) が多いと思われるため。「プロジェクト研究終了報告書」の提出をもって研究終了と定義した。
- ・ 勧告法の場合は英文投稿を原則的には必須とし、それ以外の英文論文になり難いものは臨床化学誌の「プロジェクト報告」での発表を推奨することとした。
- ・ 「中断」を明記した。

7) 試験委員会委員候補について (濱田 教育委員会委員長)

現在、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者試験委員会委員は委員長含め7名 (うちオブザーバー1名) である。試験問題の作成や試験当日の試験監督などの業務にあたり、増員したいという提案があり、理事会で承認されていた。そのため、専門委員会に依頼したところ、7つの委員会より候補者1名の推薦があり、教育委員会で審議のうえ、7名全員を候補者として理事会に推薦した。7名について理事会で承認となった。

【新規委員】

酵素・試薬専門委員会:	山下 計太 (浜松医科大学医学部附属病院)
機器システム専門委員会:	佐々木克幸 (東北大学病院)
POCT専門委員会:	戸枝 義博 (筑波メディカルセンター病院)
止血・血栓検査専門委員会:	金子 誠 (三井記念病院)
リポ蛋白検査専門委員会:	佐藤 亮 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)
ピットフォール研究専門委員会:	土筆 智晶 (北里大学病院)
TDM専門委員会:	宇佐美陽子 (信州大学医学部附属病院)

8) 抄録の電子化について (三井田 理事長)

- ・ 他の学会誌同様、抄録集についても、電子媒体で提供していただけないかという要望があり、今後は抄集についても、メディカルオンライン等で公開することが理事会で承認された。
- ・ ただし、抄録集は年次学術集会での制作であるため、事前に担当者 (コンベンション含む) に電子媒体で公開することを伝えることとなった。過去の抄録集のデータ公開については、メディカルオンラインに確認して、可能なものについては公開する。

5. その他 (三井田 理事長)

①次回理事会日程について

拡大理事会: 8月30日 (金) 18:00~19:30

6. 閉会の辞 (三井田 理事長)

- ・ 理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

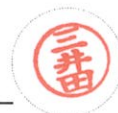
以上

2024年7月11日

一般社団法人日本臨床化学会理事会

議長

三井田 孝



議事録確認者

小谷 和彦



議事録確認者

山口 哲史

